

市のストリートピアノ「たまののピアノ」がリニューアルされ、JR宇野駅に常設するアップライトピアノと移動式の電子ピアノが

24日、同駅でお披露目された。マスキングテープでにぎやかに飾られたピアノが、街に軽やかな音色を響かせる。（矢吹喜一郎）

# たまののピアノ一新

## 宇野駅でお披露目会

「まるごと玉野」が「虹と架け橋でつなぐまちづくり」の一環として、2022年2月に瀬戸内国際芸術祭も始まる中で、ピアニストのアップライターの「たまののピアノ」がリニューアルされた。初代から引き継いだ虹や憩いの場を象徴する大きな木をデザインし、人と人とのつながりが生まれることを期待している」とあいさつ。伊藤駅長は「多く

## 市民らから装飾 チヌや虹あしらう

のお客さまに玉野を訪れていただいて、ピアノの音色を駅に響かせてほしい」と述べた。

玉野高吹奏楽部有志がピアノのデザインコンセプトにちなみ、絢香の「にじいろ」や嵐の「ふるさと」など4曲を電子ピアノと音楽器で演奏。駅利用者らが早速、聞き入った。

アップライトピアノは同駅構内に常設され、誰でも自由に弾ける。電子ピアノは5月12日まで宇野のショッピングセンター・メルカに期間限定で設置する。



新たに宇野駅に設置されたアップライトピアノ（右）と移動式の電子ピアノ

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。